

「徘徊」



あのおじいちゃん、さっきから不安
そうに歩いているけど大丈夫かな？

慣れた場所でも道に迷い
帰り道が分からなくなったり、
突然家を出て時間や場所を
考えず歩き回ったりすること
を徘徊といいます。認知症
の人なりの理由や目的があ
ります。



良い反応

「どちらまでお出かけですか」「何かお困りですか」と
優しく話しかけ、本人を落ち着かせましょう。

それから、家族や近くの交番、うきは市役所や地域包括
支援センターに連絡してください。

見てみぬふりをしてはダメです。いくつも質問したり、
問い合わせたりすると不安を助長してしまいます。

認知症の人やその家族を支えるために 地域でできること

家族に介護が必要になった時、責任感や愛情が強い人ほど

「私がすべて面倒をみなければ」と抱え込んでしまいがちです。

しかし、公的サービスを利用して認知症の人を家族だけで支えることはとても困難です。

これまでの暮らしを維持していくには、地域に住む人たちの認知症に対する
正しい知識・理解や見守り・声かけなどのちょっとした支え（=地域力）がとても大切になってきます。

認知症の人が困っている様子がみえたたら、「何かお手伝いすることができますか」と
声をかけてみてください。それだけでも不安を取り除き安心感を持ってもらえます。

そして、家族は、「大変ですね。お互いさまでですよ」と

声をかけられることで、気持ちがぐっと楽になるものです。

具体的にお手伝いすることは難しくても、

まずはご近所での挨拶や声かけから始めてみませんか。

私たちが、特別なことではなく、**それぞれ自分にできること（協力）**を行って、
いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるようにしていきましょう。